

●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

——学生論文特集（和文論文誌 A）論文募集——

学生論文特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集（平成 26 年 2 月号）として、「学生論文特集」を企画しました。

日々深化、高度化する電子情報通信技術を将来にわたり持続的に発展させるためには、優れた研究者・技術者となる人材を育成し、拡充することが重要と考えます。そこで、本特集が、若手研究者・技術者となる学生の研究活性化の契機になるよう、企画致しました。更に、和文論文誌が、若手研究者・技術者の活躍の場、関連研究者・技術者との交流の場となり、研究と学術の活性化につながることを期待しています。

本特集の対象分野は、和文論文誌 A が対象とする全分野とします。対象論文は、学生が筆頭著者である論文に限定し、若い研究者・技術者の研究活動、学術活動の活性化につながることを狙いとしています。是非、この機会に、学生皆様の研究成果を論文として積極的に投稿して頂くようお願い申し上げます。

本特集では、画像・映像・音声・プログラムなどのデジタルデータを論文の付録とすることも可能です。採録論文付録のデジタルデータは本会の Transactions Online において、論文本体とともに掲載する予定です。

1. 対象分野

基礎・境界ソサイエティ和文論文誌がカバーする分野全て：

電気音響、音響一般、騒音、振動、音声、聴覚、超音波、デジタル信号処理、アナログ信号処理、システムと制御、非線形問題、回路理論、回路解析、VLSI 設計技術と CAD、組込みシステム、数値計算、数理計画法、アルゴリズムとデータ構造・計算複雑度、グラフとネットワーク、信頼性、保全性、安全性、情報セキュリティ基礎、情報理論、符号理論、通信理論、信号理論基礎、スペクトル拡散技術、移動情報通信・パーソナル通信、高度交通システム（ITS）、画像、視覚、コンピュータグラフィックス（CG）基礎、人工知能、ヒューマンコミュニケーション、ニューラルネットワーク及び生物工学、マルチメディア環境技術、情報倫理・情報通信倫理、コンカレント工学、測定・計測、基礎理論

2. 対象論文

学生（社会人学生を含む）が筆頭著者である論文に限ります。ただし、投稿時点で卒業、若しくは、修了していても学生のときに行った研究成果についての論文であれば受け付けることとしますが、平成 25 年 3 月末時点で学生とします。

3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領、査読基準は通常の投稿論文と同一とします。

原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理できないので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」（http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html）を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

査読者と編集委員の方には、教育的指導の側面も意識したコメントを書いて頂くよう努めます。指導教員による論文執筆の指導が行われた論文が投稿されることを希望しています。

4. デジタルデータについて

デジタルデータを論文の付録としたい場合は、下記を御参照下さい。

- (1) 論文本体で首尾一貫した内容とし、デジタルデータは付録（参考情報）として取り扱います。
- (2) デジタルデータの著作権は著者に残し、学会には Web 上での公開や、DVD 等への収録等の利用に関する許諾を取得させて頂きます。（デジタルデータに Copyright が著者に所属する旨を記載させて頂きます。）
- (3) デジタルデータの容量上限については以下のようにさせて頂きます。
 - (a) 1 ファイル当りの上限は 50 MByte とします。
 - (b) 1 論文当りの上限（容量、ファイル数）を設定する場合があります。
- (4) デジタルデータの掲載・編集作業等の費用については、「付録」として扱う（論文本体に埋め込まない）ことから、今回の特集に限り無料と致します。
- (5) デジタルデータの提出は、デジタルデータを収録した CD または DVD を必要枚数作成し、事務局まで投稿締切日までに送付して下さい（必要枚数：論文 4 枚、レター 3 枚）。
- (6) デジタルデータのメディアへの収録方法、論文本文からの引用方法については「デジタルエンターテイメントにおける数理・技術とコンテンツ小特集」と同一と致します。詳細は当該小特集募集にある「『デジタルエンターテイメントにおける数理・技術とコンテンツ小特集号』の論文原稿及び採録論文付録のコンテンツ・デジタルデータの作成方法について」（http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/online_kit.lzh）を御覧下さい。

5. 論文投稿締切日 平成 25 年 5 月 7 日（火）厳守

6. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-a@ieice.org
※郵送の場合は、封筒に特集名を朱記して下さい。

7. 問合せ先

栗原正純（電気通信大学）
E-mail : kurihara@uec.ac.jp

8. 特集編集委員会

委員長 岡 育生
編集幹事 栗原正純
編集委員 平成 24 年度和文論文誌 A 編集委員

9. 付記

* 本小特集を含む本会論文誌に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。

* 採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——柔軟な ICT システムとサービスに向けた 管理技術小特集（英文論文誌 B）論文募集——

柔軟な ICT システムとサービスに向けた 管理技術小特集編集委員会

多くのユーザがネットワーク上に提供される計算資源・通信資源を共用するクラウドコンピューティングの隆盛とともに、物理的な計算資源・通信資源を、仮想的な資源として安全かつ効率的に管理する仮想化技術が発展してまいりました。仮想マシン、Software Defined Network (SDN) など仮想化技術の登場により、ICT システムは、物理的制約を受けず構成を変更可能になるなど、その柔軟性を増しています。一方、柔軟性の向上は、ICT システムの複雑化をもたらすため、情報通信マネジメントの役割はますます大きくなってきております。そこで、仮想化された情報・通信・サービスシステムの管理において、新たな提案、技術成果、測定・運用・実装からの知見の発表を促し、研究の加速、発展に資することを目的に、「柔軟な ICT システムとサービスに向けた管理技術」小特集（平成 26 年 1 月号）を企画致しました。多数の方の積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

以下の分野を対象とします。仮想化されたシステム、ネットワーク及びそれに付随する従来の制御、運用管理に関する幅広いトピックを募集します。

- ・ネットワーク管理と運用 (SDN, 仮想網, オーバレイ, センサ・アドホックネットワーク, コグニティブ無線, ソフトウェア無線)
- ・システム管理 (仮想マシン管理, データセンタ管理, 端末管理)
- ・サービス管理 (ビジネスモデル, スマートグリッド, クラウドコンピューティング, IT サービス管理, Big Data, IoT)
- ・要素技術 (モニタリング, 品質評価, 性能管理, トラフィック制御, QoS, 課金, 障害管理, 構成管理, セキュリティ)
- ・管理理論 (制御理論, 最適化理論, シミュレーション, 実証手法)
- ・その他

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり 8 ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Type of Section (Issue)/Transactions” で [Special-EB] Management for Flexible ICT Systems and Services を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を、論文投稿締切日までに下記送

付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 5 月 17 日 (金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

吉原貴仁 KDDI 研究所

〒102-8460 千代田区飯田橋 3-10-10

TEL [03] 6678-6126, FAX [03] 6678-0457

E-mail: icm-trans-si@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 登内敏夫 (NEC)

幹事 吉原貴仁 (KDDI 研)

委員 朝香卓也 (首都大東京), 阿多信吾 (阪市大), 漆谷重雄 (NII), 木下和彦 (阪大), 佐々木紀之 (NTT コムウェア), 笹山浩二 (NTT), 高橋英士 (NEC), 野村祐士 (富士通研), 矢守恭子 (朝日大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——学生論文特集（和文論文誌 D）論文募集——

学生論文特集編集委員会

和文論文誌 D 編集委員会では、情熱と進取の気概にあふれる若手研究者を育成するために、学生論文特集 (2014 年 3 月号) を企画致しました。情報通信技術の発展は、多様な研究に支えられており、学生は日々高度化する技術を体系的に学ぶと同時に、若き研究者として研究の最先端を担っています。学生の研究成果が広く論文として刊行されることは、情報通信分野の学術活性化にとって極めて重要です。本特集を通して、次世代を担う若手研究者による研究の広がりを世の中に示すことはもちろん、若手研究者同士の分野横断的な新しい研究交流、そして研究活性化の契機となることを期待しています。更に、論文の執筆・修正を通じて、若手研究者の方々が、問題の本質を捉え、自らのアイデアを整理・検証し、その核心を必要十分に説明する能力をかん養されることを望んでいます。是非この機会に研究成果をとりまとめ、投稿して頂くようお願い致します。なお、特に優秀と認められる論文があった場合には、「学生論文特集秀逸論文」として掲載することを予定しています。

1. 対象分野

情報・システム分野全般

情報・システム基礎, 計算機システム, デイペンダブルコンピューティング, ソフトウェアシステム, ソフトウェア工学, 情報ネットワーク, データ工学・Web 情報システム, 人工知能・データマイニング, ヒューマンコンピュータインタラクション, オフィスインフォメーションシステム, 教育工学, 福祉工学, 生体工学, バイオサイバネティクス, ニューロコンピューティング, パターン認識, 画像・映像処理, 画像認識, コンピュータビ

ジョン, コンピュータグラフィックス, マルチメディア処理, 音声, 聴覚, 音楽情報処理, 自然言語処理, 感性情報処理

2. 対象論文

学生が筆頭著者である論文に限定します。ただし、学生とは投稿時点若しくは2013年3月末時点で学生(社会人学生を含む)であることを指します。

3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領, 査読基準は通常の投稿論文と同一です。システム開発論文も受け付けますが, レターは除きます。「投稿のしおり」は下記URLで閲覧できます。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

4. 論文投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿のPDFファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org
※郵送の際は, 封筒に「学生論文特集」を朱記して下さい。

5. 論文投稿締切日 平成25年6月2日(日) 23:59 厳守 (6月3日0時0分に受付がクローズします)

6. 問合せ先

一般社団法人電子情報通信学会和文論文誌D担当
TEL [03] 3433-6692, E-mail: wabun-dl@ieice.org

7. 特集編集委員会

委員長 峯松信明(東大)
幹事 潮田明(富士通研), 北原格(筑波大), 吉田健一(筑波大), D編集委員から1名
委員 和文論文誌D編集委員(2013年度)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし, 企業等法人による社内利用目的の複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては, その必要はございません。(社外頒布目的の複写については, 許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用, 転載, 翻訳等)に関しては, (社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接, 下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619